



2022年10月13日

各位

会社名株式会社ホープ
代表者名 代表取締役社長兼CEO 時津孝康
(コード番号: 6195 東証グロース・福証 Q-Board)
問合せ先 取締役 CFO 大島研介
(TEL. 092-716-1404)

2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向及び第2四半期に係る決算処理の進捗等を踏まえ、2022年9月16日発表の「株式会社ホープエナジー株式の譲渡に伴う業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ」において修正した当期の第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,076	88	82	4,908	436.72
今回修正予想 (B)	1,177	223	217	5,028	446.35
増減額 (B-A)	101	134	134	120	
増減率 (%)	9.4	152.2	161.8	2.5	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期第2四半期)	24,546	△6,982	△7,026	△7,044	△738.62

※当社は、前期において決算期（事業年度の末日）を6月から3月へ変更しており、上記前期実績（2022年3月期第2四半期）は、2021年7月1日から2021年12月31日の数値です。

2. 修正の理由

当期の第1四半期（4～6月）において、当社グループの連結業績は売上高732百万円、営業利益213百万円、経常利益209百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益164百万円でした。また、2022年9月16日発表の「株式会社ホープエナジー株式の譲渡に伴う業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ」は、「組織再編により生じた株式の特別勘定」が負債から損益に振り替えられたことによる特別利益の計上を理由とする業績予想の修正を行ったものです。

今回、第2四半期累計期間の連結業績予想に対し業績動向が堅調であり、売上高は、広告事業における媒体販売、ジチネットワークス事業におけるサービス受注が堅調に推移したことにより、前回予想値を101百万円上回る見込みとなりました。

また、各段階利益は、上記1のとおりいずれも前回発表予想を上回る見込みとなりました。上記売上高の修正理由に加え、販売促進のためのマーケティングコスト等の営業費用が想定より抑えられたことから、想定以上の利益創出が見込まれるため、修正に至ったものです。

一方、各段階利益について第2四半期累計期間の時点で既に通期の業績予想を上回ることが見込まれるものの、当事業年度の通期連結業績予想については、本日現在で修正は行っておりません。その理由としては、当事業年度においては早期の債務超過解消等に向けた事業再生やエクイティ・ファイナンスに要する法

律相談等のコスト、会計監査に係る監査報酬の増大、臨時的なコーポレートアクションの増加による株式事務や印刷会社コスト等の臨時的な費用が生じており、これらについて追加的なコストが生じること、及び、急激な円安や資源高に伴うインフレ等社会経済情勢への対応により営業費用の上昇を強いられるなど業績への影響が予見されるためです。

今後、これらの進捗が明らかになり、業績予想の修正の必要が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

なお、当該業績予想における新型コロナウイルス(COVID-19)の影響については、テレワークの導入や社内における感染症対策を徹底し、従業員の安全確保及び事業への影響抑止に努めており、現時点において、今後の事業継続に支障は生じないものと見込んでおりますが、収束の時期については見通しが難しいことから、通期において当該影響が一定程度あるものとして見込んでおります。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上